mizuma

河泉会 広報誌

第 25 号 / 2016年1月



発行:河泉会(大阪河崎リハビリテーション大学同窓会)

巻頭言

『敬愛する後輩のみなさんへ』



大阪河崎リハビリテーション大学 言語聴覚学専攻 高ノ原 恭子

言語聴覚士として30年余仕事をしてきました。今更昔の話しをしてもしようがないのですが、臨床を取り巻く環境が大きく変化してきたなと感じます。リハビリテーションの対象領域は、医療、福祉、教育など拡大しつつあります。従来はリハビリテーションの対象とは考えられなかった疾患も当然のように処方されます。また急性期・回復期・維持期(生活期)といった概念に加え、終末期におけるリハビリテーションといった新たな挑戦領域も加わってきました。私たちは今まで経験したことのない疾患や症状に日々対応を迫られています。一方で、情報の取得が非常に便利になってきました。パソコンの前に座れば、あるいは小型のモバイルで出勤途中でも、容易になんでも検索することができます。図書館に行って、バックナンバーを探さなくても、雑誌の論文の全文ダウンロードもできます。教材すらCD-ROMから取り出せます。病院内ではカルテが電子化され、病棟へいって紙カルテをひっくり返さなくても、患者様の様子、検査結果、投薬の内容、日々の予定など一目でわかります。かといって多忙であるのは同じ、あるいはますます忙しくなってきているのが現状です。

このような臨床環境の中で、「じっくり患者さまと向き合う」「患者様を理解していく」「ご家族とともに考える」といった実はリハビリテーションの一番の面白みが希薄になってきているのではないでしょうか。クリニカルパスは確かに医療の質の向上と効率化を図る優れたマネジメントシステムではあります。しかし臨床の仕事は患者様の一人一人の違いを知ること、その違いから出発することに尽きます。特にリハビリテーションの臨床において、我々セラピストは疾患と付き合っているのではなく、その疾患を持った患者様と付き合っているのです。個々の違いを無視して、患者様を既存の枠にあてはめるような臨床になっていないか、常に自分の臨床を見直す必要があります。何年かセラピストの仕事をしていると、忙しいのを言い訳に、あるいはちょっと経験を積んだことをいいことに、手持ちのカードだけで勝負してしまうことが多くなります。ではカードを増やすには・・・。それは患者様の個々の症状の違い、それぞれの人間の違い、人生の違いに目を向け続けるしかないのです。新しい知識を学び、技術を磨き、一回一回の訓練セッションを真剣勝負ととらえることしかないのです。それをやめてしまった時、セラピストとしての成長も止まると肝に銘じるくらいの覚悟が必要なのです。

この多忙でかつ便利な世の中で、いかに豊かな治療・訓練を展開できるか、いかに臨床の面白さを再確認できるか、いかに真摯に患者様と向き合えるか。あきらめずに前へ進みましょう。「理学療法士」「作業療法士」「言語聴覚士」、そう私たちはともに「士(さむらい)」ではありませんか。

スキルアップ・スキンシップ講座 感想

2015年10月4日(日)にあさしお診療所 主任 河中誉真先生をお招きし、『正常発達の治療応用』をテーマに、スキルアップ・スキンシップ講座を開催致しました。今回は木佐先生から感想を頂きましたので紹介致します。

医療法人春秋会 城山病院 木佐 光輝 (理学療法学専攻大学2期生)

この度、【正常発達の治療応用】について、あさしお診療所の河中誉真先生にご講義頂きました。講義の内容は「生後から12ヶ月までの発達の流れを3ヶ月ごとに説明して頂き、その時期に応じた実技練習、症例紹介」という流れで講義と実技が組み合わり、大変分かりやすいご教授を頂きました。

本講義を通して、印象に残った言葉があります。「発達を学ぶということは、人を学ぶということ」

冒頭でご教授頂いた言葉ですが、最初はあまり気にかけていない言葉でしたが、講義を終える頃にはその言葉の 重要性が理解できた気がしました。

各時期の子どもの発達にはそれぞれ意味があり、例えば姿勢のコントロールを学習した児のリーチ動作は「道具という対象物を操作するため」「自身と母 親・対象物とをつなぐ3項関係を築く」といった、社会や環境とを繋げ「自身のみえる世界」を拡げる役割を担うということを学びました。

臨床では脳卒中片麻痺の患者様に対して姿勢コントロールの考え方やリーチ動作練習を実施したりしますが、その根底の意味合いについて深く考えることはありませんでした。

本講義を振り返って、私自身が感じたことは「自身と他者とをつなぐため、社会や環境と自己とをつなぐため」 子どもは発達していく。ゆえに「**発達を学ぶということは、人を学ぶということ」**だと感じました。

最後になりましたが、本日ご教授頂きました河中先生、アシスタントの皆様、またこのような機会を設けて頂い た河泉会運営スタッフの皆様に、深くお礼申し上げます。本日はありがとうございました。







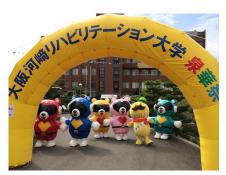
泉華祭 感想

2015 年 9 月 26 日(土)、泉華祭を開催いたしました。今回は山崎先生から感想を頂きましたので紹介致します。 医療法人大植会 葛城病院 山崎 詩織 (理学療法学専攻大学 6 期生)

この度、平成27年9月26日に開催された泉華祭に大阪河崎リハビリテーション大学の卒業生として有志で参加させていただきました。パンケーキの販売のお手伝いをさせていただいたのですが、今まで関わりあうことが少なかった本学の先輩方と話す機会を得ることができ、有意義な時間を過ごすことができました。そして、パンケーキ

を作るのが楽しくて専念してしまい、あまりブースはまわることはできませんでしたが、学生の活気や来場者の笑顔などを見るだけでも、自分も楽しい気分になりました。

私は、卒業したばかりでありますが、在学中には河泉会の活動や内容などは全く知りませんでした。今回、河泉会がスキルアップなどの講座をたくさん実施されていることを知り、今後は、知識や技術の向上を目指してできるだけ参加させていただこうと思います。また、このような機会があれば、河泉会の活動をもっと学生や卒業生に伝えていく必要があると思いました。来年も、泉華祭に機会があれば是非参加させていただきます。ありがとうございました。







特別講演会 感想

2015年11月29日(日)に京都下鴨病院 小野志操先生をお招きし、『膝関節拘縮に対する機能解剖的評価と運動療法の実際』をテーマに、特別講演会を開催致しました。今回は鶴井先生から感想を頂きましたので紹介致します。 医療法人大植会 葛城病院 鶴井 明弘 (理学療法学専攻大学4期生)

今回、河泉会特別講習会「膝関節拘縮に対する機能解剖学的評価と運動療法の実際」に参加させて頂き、ありがとうございました。当院では、膝関節疾患の患者様が多く、膝関節疾患の患者様を担当する機会が多々あり、今回の特別講習会を大変楽しみにしていました。座学では、基本的な解剖から臨床での研究結果を講義して頂いた後、直ぐに実技を丁寧に指導して頂いたことで、機能解剖学的に基づいた触診方法・運動療法をとても分かり易く理解することが出来ました。また、実技練習は一人あたりの練習時間が多く、理解するまで練習することが出来ました。それでも、分からないときは一人ずつ丁寧に指導して頂き、充実した時間を過ごすことが出来ました。

今回特別講習会に参加させて頂き、改めて触診の難しさを痛感しました。技術の向上には経験も必要ですが、日々の練習が大切であると感じました。臨床場面で、患者様にとって少しでも良いリハビリであったと思って頂けるように、日々努力していきたいと思います。







新春の候、ますますご繁栄のこととお喜び申し上げます。いつも一方ならぬお力添えにあずかり、誠にありがとうございます。来たる3月20日(日)13時30分より河泉会総会が行われます。ご多忙中のところ恐縮ですが、ぜひともご参加くださいますようお願い申し上げます。

議案は下記に記載させていただいております。会員の皆様におかれましては、今後とも格別のご理解とご支援を賜りますよう切にお願い申しあげます。

2016年1月

河泉会平成27年度総会議題

I、平成27年度活動報告

1、講演会

特別講演会

「膝関節拘縮に対する機能解剖学的評価と運動療法の実際」

講師:小野 志操先生 京都下鴨病院・理学療法士

日時:平成27年11月29日(日) 10:00~16:00 参加人数:51名

2、機関紙

24号:6月中旬に完成。7月中旬発送 25号:1月中旬に完成。1月末発送予定

3、理事会

4月、6月、8月、10月、12月、2月(開催予定) に理事会開催(年6回開催)。

4、泉華祭

日時:9月26日(土)

パンケーキ・ドリンク販売、OB・OG によるなんでも相談室

5、スキルアップ。講座

1)5月24日(日):「小児領域における理学療法の展望」

大阪河崎リハビリテーション大学 高倉 利恵氏 大阪河崎リハビリテーション大学 藤平 保茂氏

2)10月4日(日):「正常発達の治療応用」

あさしお診療所

河中 誉真氏

3) 3月20日(日):「不器用な子供の動きづくり」(仮称・予定) **※詳細は別紙をご参照下さい。** 大阪河崎リハビリテーション大学 高橋 泰子氏

講演会、スキルアップ講座についての詳細は機関誌「MIZUMA」以外にも以下の HP 他、SNS にも掲載しております。

大学 HP http://www.kawasakigakuen.ac.jp/graduate/

河泉会ブログ http://41413452.at.webry.info/ 河泉会会長ブログ http://ameblo.jp/kawasaki-ob-pt/

Ⅱ、平成27年度会計報告

詳細は総会にてご報告いたします。

Ⅲ、平成28年度年間活動予定・予算案

4月~3月で2回実施。 スキルアップ・スキンシップ講座(在学生、1年~5年目の卒業生を対象に)

7 月 機関紙発送

9月 泉華祭:日程•講師検討中

10月 講演会:日程•内容検討中

1 月 機関誌発送

3 月 総会:日程検討中

〈平成 28 年度予算案〉

項目		予算額
1. 管理費	各委員雜費	90,000
2. 機関紙代	機関紙代	300,000
3. 講演会費	講師代	105,000
4. スキルアップ [°] 講座	講師代	130,000
5.泉華祭	泉華祭ブース代	20,000
合 計		645,000

Ⅲ、その他

1、河泉会ロゴマークについて

学校法人河﨑学園は、2016年に創立 20 周年を迎えます。この機会に、特色や個性を社会にアピールし、地域の方々に親しみを持っていただけるような「ロゴマーク」を公募しますので、多くの皆様のご応募をお待ちしております。<u>※詳細は別紙をご参照下さい。</u>

河泉会 理事会 議事録

平成 27年 7 月

- ■平成27年度スキルアップ講座について
- ・日程を調整する。
- ■秋の特別講演会について
- ・内容、講師決定。広報していく。
- ■泉華祭について
- ・日時決定。催し物を検討する。
- ■その他
- ・河泉会のマークの検討。

平成 27 年 10 月

- ■平成27年度スキルアップ講座について
- •10 月終了。
- ・講師決定。日程検討する。
- ■1月の機関誌について
- 記事内容の確認。
- ■秋の講演会について
- •内容の確認。
- ■その他
- ・河泉会マークの検討。
- ・次年度の特別講演会の検討。
- 次年度泉華祭の検討。

平成 27 年 12 月

- ■平成27年度スキルアップ講座について
- •10月:講師、日時決定。
- ・11月:講師決定。日時・内容を調整。
- ■1月の機関誌について
- 掲載記事の決定。
- ■秋の講演会について
- ·講師、内容、日時の決定。

■その他

- ・河泉会のマークを検討。
- ・泉華祭の内容を6月中に決定。
- ・河泉会広報活動の提案。
- ・平成28年度スキルアップ講座案を検討。
- ・郵送方法を検討する。

学校法人河崎学園創立 20 周年

大阪河崎リハビリテーション大学開学 10 周年の集い

2016年は河﨑学園創立 20 周年の節目を迎えます。同窓生の皆さま方を大学にお招きして、第 2 回の「ホームカミングデー」を開催いたします。卒業後 15 年・10 年・5 年を迎える同窓の皆さまも遠慮なくご参加ください。心より皆さまのご来校をお待ちしています。

2回目となる本年度のホームカミングデーは、式典の開催となります。式典のほかにも、講演会や趣向を凝らしたさまざまなイベントを予定しております。ぜひご家族でお出かけいただき、キャンパスで朋友とともに昔話に花を咲かせながら、楽しい秋の一日をお過ごしいただければ幸いです。

同窓生の皆さまには、ホームカミングデーへのご参加を通じ、懐かしい水間での一日をお楽しみいただくとともに、大阪河崎リハビリテーション大学のより一層の発展のため、共に未来に向け、ご支援ご協力を賜りますよう、改めてお願い申し上げます。

- (1) 日時 平成28年11月6日(日)
- (2) 場所 学内会場
- (3) 内容:午後から半日での実施

 I 式 典
 13:30~14:20

 II 記念講演等
 14:30~15:30

Ⅲ ホームカミング・デー

2016年

河﨑学園創立 20 周年を迎えます!

河崎学園は 2016 年で、20 周年を迎えます。これもひとえに河泉会の皆さまのおカ添えのおかげと、深く感謝しております。皆さまにおかれましては、各方面でご活躍のこととお慶び申し上げます。

本学は、OB・OGの皆さまの勉強会の場の提供や地域リハビリテーション研究会などを開催しております。研究活動や、卒業生・教員との交流の場としてご活用ください。

また今後、本学の学生が皆さまにお世話になることが多々あるかと存じます。どうか一層のご指導とお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。



大阪河﨑リハビリテーション大学

理学療法学専攻 ● 作業療法学専攻 ● 言語聴覚学専攻

〒597-0104 大阪府貝塚市水間 158 番地

Tel.072-446-6700

大阪河崎



河泉会の皆様へ

河泉会では年2回(1月・7月)広報誌を発行しています。広報誌に掲載する記事を会員の皆様から受け付けています。内容・字数には制限はありませんが、主に下記の内容を考えています。河泉会活動の活性化のためにも振るって投稿して下さい。

- ・ 学術的な内容
- 紀行文
- 河泉会活動に対する提言または意見
- 勉強会案内
- 医療に関するトピックス

《 連絡先 》

本道 大地 (医療法人大植会 葛城病院 リハビリテーション部 理学療法課) 原稿の送信方法は本道まで直接メールでお願いします 連絡先: hondai 0807@yahoo. co. jp

河泉会ブログ案内

勉強会の案内や卒業生が企画する勉強会・定期的な理事会などブログでも更新していきたいと思います。

河泉会 ウェブリブログ×

Q 検索

http://41413452.at.webry.info/

携帶電話では右の QR コードも使用可能です。



住所・勤務先 変更された方へ

住所・勤務先変更されましたら、郵送物の宛先変更の手続きが必要なため、異動届けを提出して頂く必要がございます。下記の方法で御連絡ください。

- ①大学ホームページへ移動
- ②ホームページ右上 『卒業生の方へ』をクリック
- ③『卒業生の方へ』のページ下にある『同窓会 「河泉会」』をクリック
- ④『入会届および住所変更など異動届のお願い』に記載されている方法をご参照の上、
- メールアドレスまでご連絡ください。

編集委員

新立 勇一(理学療法学科 9 期卒) 本道 大地 (理学療法学専攻 2 期卒) 鶴井 明弘(理学療法学専攻 4 期卒) 福本 竜太郎(理学療法学専攻 4 期卒) 竹林 弘平(作業療法学専攻 2 期卒) 林 晃奈 (言語聴覚学専攻 4 期卒)

発行責任者

河泉会会長:松田 洋平 (理学療法学科1期卒)